

ぼらんていあ川口

あなたの
ボランティア活動を
応援する情報誌だよ



R7. 11. 1
138号

社会福祉法人 川口市社会福祉協議会
かわぐちボランティアセンター
編集：ぼらんていあ川口編集員
〒332-0015
川口市川口1丁目1番1号キュボ・ラ本館棟
M4階
TEL：048-227-7640
FAX：048-227-7641
<https://kawaguchisyakyo.jp/volun/>

人のつながりの連鎖と継続力で新たな企画が生まれる！

～特定非営利活動法人まちづくり川口 活動紹介～

川口市の活性化と安心・安全なまちづくりを目的に、誰もがもっと笑顔で楽しく暮らせる“魅力ある川口”の実現を目指して活動をしている「まちづくり川口」。今回は「まちづくり川口」の活動内容と魅力について代表の長谷川さんに語っていただきました。

Q：『まちづくり川口』の発足と活動内容を教えてください。

A：西川口駅前のシャッター街をグルメタウンにしようと考え、そこでB級グルメ大会を開催したことがはじまりです。
最初は川口市の清掃活動をしていましたが、今は芝川や荒川の清掃活動や、さまざまな地域イベントを企画して、たくさんの人と交流しています。



▲活動への思いを語る長谷川さん



Q：活動にあたって大切にしていることは何ですか？

A：清掃活動を継続しながら、人とのつながりを大切にしています。
ゴミ拾いにも個性が表れ、その多様性を活かした企画づくりを行っています。たとえば、イラストが得意な方には関連した活動を提案し、活躍できる場を提供しています。
外出が苦手な方も『まちづくり川口』がきっかけとなり、居場所として感じてもらえるよう、声かけや励ましを大切にしています。参加者同士のつながりから新たな企画が生まれることもあり、その連鎖と継続が地域づくりの力になると思っています。

Q：今後どのような活動を考えていますか？

A：『まちづくり川口』は発信力が強みで徐々に参加者が増えています。今後はさらに多くの参加者を募って荒川、芝川を一緒に清掃する企画を構想しています。
そして川をきれいにしたらそこに屋形船を流したいです！
また、交流会事業も予定しています。



あなたの参加をお待ちしています★

最後に読者へメッセージをお願いします！

清掃活動や交流会ではさまざまな業界の人が集まっていることでさらなる企画を練っています。
SNSではXで活動内容を投稿したり、まちづくり川口の参加者を募集していますので、ぜひご覧ください！

まちづくり川口【公式】アカウント :@mapkhwt
まちづくり川口 運営事務局(広報兼):@machikawa_pub

めぎせボランティア日本一の街 第24回ボランティア見本市開催

取材
しました！！

10月5日（日）、ときおり夏を思わせる日差しのなか、川口駅東口キュポ・ラ広場にて、第24回ボランティア見本市が開かれました。市長があいさつで触れたとおり、「ボランティアの活性化は街づくりそのもの」という理念のもと、ステージやブースでは多種多様な40超の市民団体による活発な発表が行われました。



◀健康、教育、環境 etc.
テーマは違えど、どの団体からも街を想う熱意が伝わってきて来場者も感嘆しきり。

展示のひとつ、“川口すごかるた”も「郷土を愛する心を育む」目的で作られたもの。小中学生の公募700点以上から絵札が選ばれたご当地かるたは、すごろくとしても遊べるのが魅力です。



▲小中学生の体験プログラムも看護師体験、手話、折り紙、募金活動など盛りだくさん。ひときわ人気を集めたのが盲導犬体験（事前申し込み）。アイマスクをつけた参加者たちは一歩ずつ慎重にコースを回っていました。

～災害ボランティア養成講座開催のお知らせ～

大規模災害時に、災害ボランティアセンターの運営協力をはじめとした諸活動に協力いただく、災害ボランティアを養成する講座です。

○日 時 12月7日（日）9：30～11：30
○場 所 青木会館1階コミュニティルームA・B
○申込開始日 11月4日（火）から※月曜・祝日休所
○申 込 先 かわぐちボランティアセンター
☎ 048-227-7640



－編集後記－

今号よりぼらんていあ川口の編集員に加入したアラ還の新人です。ボランティア見本市など取材する機会をいただき、すでに30年ほど川口在住なのに知らないことが多く、刺激を受けています。私も街のためにできることがあるかも？ もっと川口を深く知りたいかも？とワクワク。

どうぞよろしくお願いします。
（ぼらんていあ川口編集員 A.Y）

